京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

韓國保護政治

傳ふる所によれば近日韓國統監伊藤公が歸朝の目的は、主として統監府官制の改革を斷行し冗員を淘汰すると同時に、權衡上韓國內閣官制の一部を改正し現在の二三省に大臣を置くの外他は悉く長官制度に改むるに在り其經過如何によりては公自身の進退を決するに至る可しと云ふ吾儕は伊藤公が古稀の齡を以て國外の重任に膺り蹇々匪躬の忠誠を深く多とするものなり、保護政治過去の經過を顧るに於ては素より指摘す可き缺點非難すべき失策なきにあらず（中略）而して保護政治其のものゝ至難たるは之れを世界の實例に徵し思半ばに過ぐるものあるのみならず、久しく專制抑壓の虐政に馴れ、列强の間に介在して面從腹背虛僞譎詐を以て能事となし、眞摯誠實の本性を滅却せる韓人濟度の至難なるは恐らく局外者の想像し得可き所にあらず

（中略）遂與伊藤公の保護政治に於て吾儕が夙くに危惧の念を禁せざりし所のものは韓國內閣の組織なり

公は韓人を以て各省大臣となし其下に邦人の次官を置き補翼獻替誤りなきを期せり、而して如斯奇怪なる組織を立つるに至れる個中の消息、必ずや纏綿せる事情の伏在せるに由る可しと雖も、是れに依て以て圓滿なる施政の發展を望まんとするは所謂緣木求魚の類のみ、韓人の大臣を戴き其命令を遵奉するが如き次官は必ずや尸位素餐の徒たるを免れざる可く、之れに反し次官にして大臣を藐視し恣に其手腕を揮はんか韓人如何に無能なりと雖も兩者の軋轢乖離を免る能はず、卽ち韓人の大臣を補翼するに邦人の次官を以てせるは、頗る巧緻に似て實は甚だ拙劣なる組織と云ふ可く、幾多の非難攻擊此間に胚胎せるも毫も怪む可きにあらず、然るに從來の經驗に徵し公も亦其失策たるを認め、今や內閣官制の改正を斷行せんとするは、時機既に遲れたる憾なきにあらずと雖も、吾儕は公の反省悔悟を喜ぶものにして、此際斷乎として邦人を重もなる各省に長官たらしめ、公の監督の下に自由に其驥足を伸べしめんか、韓國施政の前途必ずや刮目して見る可きものあらん、吾儕は伊藤公の保護政治を絕對的に謳歌せず、强ひて之を求むれば慊焉たるもの素より尠からず（中略）韓國經營の一段落を告げ八道の人心其堵に安んずるに至るまでは、切に此老政治家の忠誠盡瘁を吝まざるを望む（東京毎日）

文苑

●友の逝去（二）　柴月

ながめゆかしき海原も
君逝たればこの後は
ゐづこの友を距るべき
●●●●
道の尾たくの不動坂
●●
岩谷のもりの時姫塚
●●●●
住吉うらの蟹ひなど
かすは過世の夢なるか
過去のつみか人しれで
メジチーチの甲斐もなく
きみは地下に眠りたり
君が愛せしショーピ花も
墓前へ向ふショーピとは
花園のさすぞ忍ばれて
たればこぼるゝたま露の
今は墓前へ添へるなり
今はぼせんへ添へるなり

俳句

●自選五句●●●●　想堂

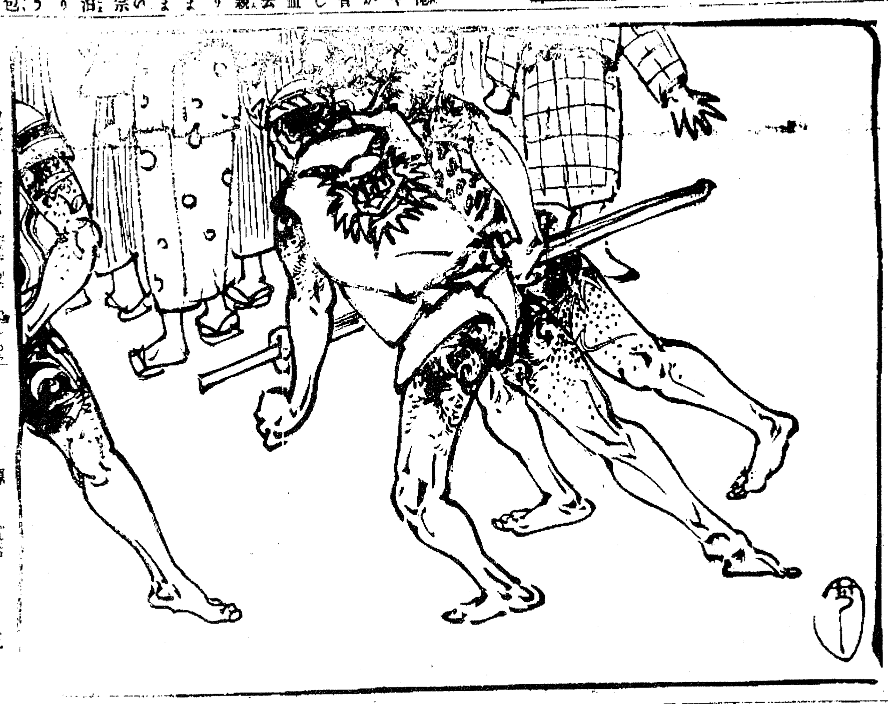
緋茶屋、簾の凹に泗水かな
神殿に鋳鐘掛りて燭涼し
午過ぎて雨山の若葉に霧かな
●南山●
月皎々奇巌の松や風涼し
●濮江●
朝涼し鯉跳ねて潮満ちて來る



佐倉宗吾

（七十六）　眞龍齋貞水講演

三「てん畜生ッ、手前の其生いてる爪で俺を引掻きやがって　掃「其位の事を辯なきや人が本統にしねえ　直「酷い奴等だ、俺ばかりぶん毆りやがって　五「宜し〳〵、マア皆な御苦勞だつた、巧く行つた」と喜びました、相對喧嘩をして、顏を剝き、腕から血を出したのも、是も宗五郎を助けたいと云ふ一心からでございます、さて宗五が二階へ登りました時、島屋の主人は後から登つて來まして　源「是は〳〵公津の旦那樣でございますか　宗「是は島屋源兵衞殿、久濶でございました　源「宜うこそ御來でございました　宗「どんだ、御迷惑でございませうが、別に泊る宿がない故、此家を指して御厄介になりに來ました　源「宜う御來下さいました、イヤもう公津の旦那樣、貴下の前だから、何事も包まず御話し致しますが、貴下方が江戸表へ御出掛になりましたお後の騷ぎは大變で、イヤもう何うも、堀田の役人が、六人の旦那方を縛つて了うと目の目、それは〳〵一時〳〵に廻りが嚴しく參りまして、如何な御泊りの御客樣がありましても、其客を一々調べると云ふやうな譯でございます、漸く今日は、役人の眼に止まらないで、私の家へ御泊り下さいました　宗「それほど御手配りの中を、御當家へ泊りましては、誠に御氣の毒樣でございます　源「ナアニ、旦那はございません、此月卿を御開けになりますと、古萬龍がございます、下へ降りる梯子がございます、其梯子を降りますと、双方羽目張に成つて居ねて、何處から見ても分らぬやうに成つて居ります、其羽目と羽目の間をズウーッと、御出になりますと、奥藏の物置へ出ます、其物置の二階へ三疊の隱れ場所がございます、斯りや何う觀ても、二階の物置のやうに出來て居りますから、決して知れるやうな事はございませぬ、何故そんな物が拵へてあるかと云ふと、御先代樣の御政治は、博奕位は大目に見て下すつたから、近在の百姓衆の旦那方が私の家で慰み半分に博奕をなさる、其時に土地の遊び人や、長脇差が踏込んで來ては、面倒臭いから其用心のため拵ねて置きました普請の時に心を着けましたので、何人も知つて居る者もなければ、又其處を逃けて其二階へ入つた以上は、如何な事をしても知れないやうに成つて居ります、それで若し下へ役人の來ました時には私が御苦勞樣でございますと、大きな聲を揚げますから直に是から御隱を願ます、爾うすれば大丈夫でございます　宗「エー、何から何まで有難うでございます　源「エー…もう私は、貴下の御恩を受け、御引立に成りましたから、其御恩返しに、如何な事でも勤めますのでございます、希かさう云ふ思召で……」と云ふと五郎兵衞が　五「オウ嶋屋　源「ハイ　五「私は上野の三十六坊へ親類人足の人入をしてゐる下谷の鍛冶屋、井筒屋五郎兵衞と謂ふ者だ　源「ハア然うでございますか　五「若し堀田の役人が來て調べたら、常陸の龍ケ崎へ親類があつて、それからズッと廻つて、成田の不動尊へ參詣するんで、此方の家へ御厄介になつたと云ふやうに、役人の方へ云つてくんなせぬ　源「へ、畏りました　五「んぢや何か、へ、此處を開けるんだな……成程古萬龍がある……成程下へ往けるゝ、んぢや宜しうござります、お前さんの聲を聞きや、直ぐに宗吾樣を下へ卸します　源「それぢや親分樣、どうか御願ひ申します、ナアニ、今しがた、御役人樣が參りましたから、未だ參りは致しませぬ、大丈夫でございます、御安心なすつて、就きましては公津の旦那樣　宗「ハイ　源「貴下は是から、日が暮れましたら、公津まで往らつして　宗「ハイた美麗に　源「一寸申したい事もございますから、一



京城街報

韓國中央銀行論
第一銀行の關係を如何にすべき乎

大阪毎日新聞の報する所に依れば、韓國中央銀行の設立に就て統監府及大藏省は種々調査をなし大体に於て決定したりとの事なるが、此問題は韓國に於ける經濟問題の最大なるもの丶一として大に攻究を要する事なりとす、世人の知る如く第一銀行は數年來韓國の中央銀行たる姿を以て銀行券發行の特權を有して今日に至れるなり、然るに韓國政府に於て中央銀行の必要を感じて之を設立するに就ては、第一銀行の有する特權を如何に處置すべきか、聞く所に依れば第一銀行の有する銀行券發行の特權は同行と韓國政府との契約は其年限に就て更に限定する所なし、之を以て無期限と見做し永遠に亘りて特權を有するものと解釋することを得べく、亦韓國政府の側より解釋すれば一定の期限なきを以て何時にても其特權を取上ることを得るとも解釋し得べけんか、併し實際に於て其特權を取上るとすれば韓國政府に取りては所謂一種の利權回復なり、而して韓國目下の現狀に鑑みて獨立せる一の中央銀行の設立を必要とするや否に就ては余輩よりも當局者の能く知る所ならむ、當局者にして果して獨立せる中央銀行の設立を必要とするならば敢て余輩の喙を容るゝ所に非ざるも、要するに韓國政府が中央銀行の必要を感ずる所は、政府入用の資金を何時にても自由に借上得る事と、紙幣發行の伸縮により政府の方針通り金融經濟を按排すること、紙幣發行により生ずる所の利益を收むること等ならむ、其必要を感ずること果して以上の三點なりとすれば、第一銀行は此點に於て韓國政府に對して現在相當の便宜を與へつゝあるべしと思惟すれども、實際韓國政府が望む所の事が第一銀行に依りて果されざるものあるに於ては同行の特權を取上げて中央銀行を設立することは或は止むを得ざることとなるべし、斯る場合に際しては假令契約上の解釋を如何にするとも實際に於て第一銀行の損失は決して鮮少ならざるべきを以て、韓國政府は此利權を回收するに於て宜しく相當の賠償をなすは當然の事なりとす、蓋し本問題は韓國經濟上の重大なる問題なれば決して輕々に論議すべからず、須く愼重なる研究をなさゞる可らず、余輩は本問題に就て一層の研究を遂げて世人と共に圓滿なる解決に資すべく更に意見を發表せんと欲するもの也、

東京電報

▲高商の火災　昨夜高等商業學校教室十棟燒失す原因は不明なれども目下粉擾中のことゝて學生の放火ならんとの說高し

▲宮殿下晩餐會　有栖川宮殿下には來る十五日韓太子伊藤統監を招き晩餐會を開かせらるゝ筈なり

▲關係者有罪　日糖事件につき拘引されたる代議士某前代議士某の二名は豫審の結果有罪と決す

▲副統監昇任か　伊藤統監の退職問題は頃日來桂首相も統監の老軀を永く韓國に置く可らずと云ふに一致し今回曾禰副統監に至急歸期を命じたるも此れが爲めならん

外報一束

●銅官山買收議　英國公使は清國政府に對し山西省礦山採掘權買收と同一の條件にて銅官山を買收せん事を提議せり併し外務部は之を拒絕したりと

●露人の觀光團　今夏露人日本觀光團を組織し三回に分ち其第一回は六十名を一團として出發せんと

●露清交涉再開　東清鐵道總裁ホルワート將軍は尙北京に滯在し居り哈爾賓問題稅關及び境界問題に就き九日外務部と交涉を再開せし筈

●滿州ご錫新督　奉天右參贊錢能訓來京につき新任東三省總督錫良は過日之を自邸に招き詳細東三省の事情を聽取り密議を凝らしたりと

●滿州の新施設　前東三省總督徐世昌の上奏によれば新民府より吉林を經由し齊々哈爾に至る電線は全部架設を終り並に營口、撫順及び新民府の地方審判廳も既に事務を開始せらると云々

●清廷の新計畫　清國某大官の談によれば清廷は頃來或大事業に着手せんとしつゝありと

●新島氏の肖像　來る七日マサチユーセッツ州アーマースト大學に於て故新島襄先生の肖像除幕式を舉行するに就き高平大使水野總領事は同地に赴く

雜報

●副統監の帶同 參內　今十一日曾禰副統監は左の諸氏を帶同し韓皇に謁見する由
大藏省理財局長勝田主計、同書記官田昌氏東洋拓殖會社監事子爵松平直平、統監府鐵道管理局技師石川石代、在東京瑞典國代理公使フオルケクロレホルム、同墨西哥代理公使エフレンレボリド、佛國學士會員博士ラチロング、在東京白耳義公使館付外交官補伯爵ドケルショーブデンテルダム

●伊藤統監勸告　五日の支那新聞は北京電報として「統監伊藤公は北京外部に書を以て勸告して曰く支那の立憲は宜しく獨逸、墺太利に倣へ」との記事を掲載せる由

●曾禰子統監說　曾禰副統監は近き將來に統監に陞任すべく內定し伊藤公は爾今一度渡韓することあるべきも其の際は恐らくは統監としての行ならざるべしと大朝紙は報せり

●日本觀光團の歸京　觀光團は昨十日午前撫事釜山に上陸急行列車にて午後十時五分南大門に歸着せり

●宇佐川總裁出發期　既報の如く宇佐川東拓總裁は第一回株主總會列席の爲め井上理事、崔秘書役長及関副總裁を從へ來る十四日朝出發東上すべしと

●荒井次官の歸任　豫て東上中なりし度支部次官荒井賢太郎氏は八日歸任せり

●東拓監事の出發　東拓監事松平子野田卯太郎の兩氏は今十日の夜行にて歸京せり

●勝田局長の消息　勝田理財局長は日割の通り十日午前十一時永登浦關稅總長の招待宴に臨み午後度支部に立寄り同夜は東拓總裁主催の歡迎宴に出席せり

●局長會議の延期　財務監督局長會議は昨十日開會の豫定なりしも尙議定すべき事項あるを以て向ふ四五日間の延期を爲したりといふ

●手工組合ご補助金　目今漢城に於ける產業萎靡して經濟界亦不振の狀態にあるを以て俞府民會長は之れが救濟の爲め過般來手工組合なるものを設立せんとて種々畫策中の由なるが俞氏は又一方李總理及趙農相に補助府支出方に就き運動しつゝありと云ふ

●白銅殘額整理　既報白銅貨の公納金通用期間は今月迄なるが度支部は右期間滿了後に於ける該貨の整理に關し既に成案を內閣に廻附したる由にて本日の大臣會議に上るべしと

●親睦會出席方勸誘　既報の如く日韓人親睦會は來る十六日景福宮に於て開催さるべきが同會發企人は日本人側に於ては各部次官、局長、民會商業會議所議員、衛生組長、醫師、辯護士、銀行會社其他有志百數十名に對し出席方の承諾を求めたるに孰れも應諾の回答あり又韓國側に於ては京城に於ける重なる人士は勿論京畿觀察使開城及び仁川府尹等之又快諾したる由にて尙聞く處に依れば韓皇室及び政府に於ても同會の開催に非常に賛成し可成多數の韓人を出席せしめんとて各道代表者に出席を勸誘する所ありと云ふ

●漁區實查員の出發　農商工部にては愈々本日より漁業出願地に技術官を派し漁區の實査に着手する筈なるが其調査方法は東海區には嚴書記官二主事を隨へ先づ元山に赴き同地より城津迄を實査し更に元山に引返しそれより江原道沿岸を調べ迎日灣より歸任すべしと次に南海區は舊蒲技師外二名釜山へ直行同地より巨濟島、馬山を調査し夫れより全羅沿岸を調ぶる筈なり次に西海區には李翻譯官遠山技手一行仁川に赴き忠清南道漁區を調査し一度仁川に引返へし直ちに黃海道沿岸を實査すべしと期間は三區共約一ヶ月間の豫定なり

●間島の教育機關　間島にては昨年來普通學校を設定して在間島韓人子弟の教育機關を爲し居りたるも本年度に於ける就學兒童の增加に從ひ從前の校舍にては狹隘を來すを以て今般國庫より一万二千圓を支出して新校舍を建築すべしといふ

●官立學校卒業生志望　漢城師範學校附屬普通學校外漢城府內官立普通學校卒業生の卒業後の志望を聞くに總數百九十六名の內師範學校七、高等學校四十九、外國語學校五十九、農林學校四、工業傳習所二十五、漢陽商業十一、實業學校七、法官養成所一、其他の學校十三にして學事及實業に從事する者十九、漢學專攻の者一名なりといふ

●郡主事人選終了　今年度に於て各道郡衙に配置すべき邦人郡主事五十名の人撰に就ては曩に內部大臣より我地方長官に委囑しありたるが此程全部の撰任を終りたる旨通知ありたりと右は今月中に夫れ〲着任する筈なり

●日本蜜柑清韓輸出　日本の蜜柑輸出は露領亞細亞を最得意地とし清韓地方之に亞ぎ米國方面にも輸出せらるゝが其の清韓方面の輸出額は十六萬圓强にして我が農商務當局は今後益々その輸出を獎勵し且三等品の輸出は成べく之を防止し一等品及び二等品の輸出を盛んならしめ以て本邦輸出蜜柑の聲價を高むる筈なりと

●司令部軍醫正會議　軍司令部に於て森田軍醫監及軍醫正各衛戍病院長各軍醫正及軍醫參集し昨十日より十四日迄衛生上の會議を開く由

●龍山日の出の祝宴　既報の如く龍山日の出新聞社の一週年祝宴は九日龍山桃山桃仙閣に於て開催されたり會場は綠門、球燈、萬國旗等を以て飾られ絕へず烟火を打ち上げ模擬店の設備あり軈て宴開かるゝや社長渡邊氏挨拶を爲し夫れより藝妓の手踊等ありて頗る盛會なりき當日の參列者は京龍の文武高等官、紳士、紳商新聞記者、通信員等無慮百名なりき

●度支部大臣の招宴　度支部大臣は九日東大門內養士洞なる李學相別邸に各大臣、尹侍從院卿其他を招待し酒宴を催ほしたりと

●佐々木 佐々 兩氏歡迎　大藏省の佐々木善次郎東亞煙草會社の佐々熊太郎兩氏は滿韓視察の爲め過日入京せしが大藏省煙草專賣局に關係ある在京官民四十餘名は兩氏の爲めに九日夜梅翠樓に於て歡迎會を開きたりと

●米副領事滿州行　米國副總領事ゴルドンパドッラ氏は昨十日京城發安東縣、奉天を經て哈爾賓へ向へり

●韓國中央銀行 計畫　韓國に於ける第一銀行の業務は實質に於いて中央銀行と殆んど變る所なきに別に中央銀行を設立して今日第一銀行の營み居る紙幣發行其他の業務を營ましむる必要ありとて統監府に於いて種々取調ぶる所あり大藏省に於いては各種の方面より調査し大体の調査は略決定したるも兎も角該問題は韓國に對して重大の關係あるを以て大体の調査に基き更に詳細の件に亘りて細密の調査を遂げ其結果に依り遠からず設立することゝなるべき模樣なりと（大阪每日所載）

●暴徒出沒地被害一覽　全羅南道一月中に於ける

全羅南道に於ける暴徒は今尙は猖獗を極め同地方在留邦人は之が鎭制方に付き意を惱ましつゝあるが過般木浦商業會議所にては曾禰副統監の來木を機とし「全南に於ける暴徒の被害及其の狀況」なる一冊子を編纂し副統監の一覽に供したる由なり而して左に參考迄に之が暴徒の出沒地及び被害一覽表を揭ぐべし尙二月三月は明日の紙上に揭ぐべし

▲財産に關する損害▼

出沒地	集合又は通過度數	民家へ來襲度數	金 日人 圓	金 韓人 圓	物品 日人 圓	物品 韓人 圓	建物 日人 圓
務安	七	六	—	—	—	一〇〇	—
羅州	八	一〇	—	—	八五	二四〇	—
長興	二	四	—	—	—	—	—
谷城	一	三	—	—	—	—	—
順天	四	四	—	—	—	—	—
珍島	一	一	—	—	八〇	—	—
長城	一	一	—	—	—	—	—
興陽	—	三	—	一九三	—	一五〇	—
海南	五	三	—	一四六	—	六	—
綾州	—	一	—	—	—	—	—
光州	四	六	—	三六	一、五四二	—	四〇〇
莞島	一	二	三	—	三〇	—	—
同福	一	一	—	九〇	—	—	—
咸平	二	二	—	—	—	四〇	—
麗水	—	一	—	—	—	—	—
靈光	四	二	—	六〇	—	—	—
寶城	一	—	—	—	—	—	—
康津	—	—	—	—	—	—	—
求禮	—	二	—	二	—	—	—
昌平	一	一	—	—	—	三	—
靈岩	—	二	—	一七三	—	—	—
光陽	—	一	—	—	—	一九	—
計	四二	五七	三	七〇〇	二、四六八	五五八	四〇〇

▲身体に關する損害▼

出沒地	死 日 男	死 韓 男	傷 日 男	傷 韓 男	毆打 韓 男	拉去 韓 男	放火 度數 日	放火 軒數 日
務安	—	三	—	—	—	一	—	—
羅州	—	一	—	—	一	三	—	—
長興	—	—	—	—	六	一	—	—
谷城	—	一	—	—	—	—	—	—
順天	—	三	—	—	五	—	一	二
珍島	一	—	一	—	—	—	—	—
長城	—	一	—	—	—	—	—	—
興陽	—	—	—	—	—	—	—	—
海南	—	一	—	一	二	一	—	—
綾州	—	—	—	—	—	—	—	—
光州	—	—	—	—	二	二	—	—
莞島	—	—	—	—	—	—	—	—
同福	—	—	—	—	—	—	—	—
咸平	—	—	—	—	—	一	—	—
麗水	—	—	—	—	—	—	—	—
靈光	—	—	—	—	一	—	—	—
寶城	—	—	—	—	—	—	—	—
康津	—	—	—	—	—	—	—	—
求禮	—	—	—	—	—	—	—	—
昌平	—	—	—	—	—	—	—	—
靈岩	—	—	—	—	—	三	—	—
光陽	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一	一〇	一	一	一七	三	一	二

●平壤四月輸入酒類　平壤保稅倉庫四月中の酒類輸入高は清酒一万四百三十三升、麥酒千五百九十二打、ウイスキー十一本、葡萄酒二十四打此鑑定價格六千十七圓也と

●大邱の石鹼製造所　大邱某商會にては昨今石鹼事業を經營し居れるが銷路頗る多く重もに大田馬山方面へ向け出荷すといふ殊に近頃附近韓人の多くが石鹼の使用法を知り日々注文ありと

●鬱陵島の日韓人口　現在鬱陵島在住の韓人人口は四千六百六十一人戶數は八百九十九戶本邦人戶數二百十三戶人口は七百十三人にして其內五百三十人は島根縣人七十余人は鳥取縣人其他は十餘の各府縣人なりと

●陸軍衛戍射擊會　龍山なる陸軍衛戍射擊會は五月十四十五の兩日龍山射擊場に於て施行する由なるが射擊開始は午前八時にして終射は午後五時より之が等級を別て三種あり第一種は將校同相當官准士官第二種步兵及工兵下士卒第三種は騎兵及砲兵下士卒とし優等賞品は第一種三十等第二種百五十等第三種二十等なり

●石川建設部長出張　鐵道管理局建設部長石川石代氏は明十二日午前八時四十八分の南大門發列車にて歸朝し歐米視察の途に上るべしと

●永濱總長の歸任　群山開港十周年祝典に參列の爲め出張したる永濱關稅總長は九日夜西大門着の汽車にて歸任せり

●中央大學々員會　在京城の中央大學々員會は九日午後一時より龍山八景園に於て開會せり幹事松本雅太郎氏開會の辭を述べ次で次會幹事の推薦を爲したるに大久保雅彥、伊藤德須川、錦織、馬張瀨[illegible]の四氏當選し向後は春秋大會の外時々小集會を催す事に決し紀念の撮影を爲し午後七時散會せり

●永濱總長の招待會　永濱關稅總長は勝田大藏省理財局長の一行を主賓とし昨十日正午より官邸に招待會を開きしが度支部よりは鈴木局長及各書記等も參列したりと

●坪井技手の昇任　統監府通信技手坪井藤次郎氏は今回通信技師に任せられ高等官七等に敍せられたり

公人私人

▲水口隆三（統監府書記官）八日入京不知火
▲成瀨勝直（天安憲兵分隊付二等主計）同
▲久水三郎（元山理事官）浦潮に投宿中八日大邱へ
▲松本重敏（木浦理事官）九日入京巴城館
▲天野喜之助（群山理事官）同上
▲三增久米吉（馬山理事官）同上
▲吉川岩太郎（鑛業所技師）同日入京天眞樓
▲本田幸介（勸業模範場長）同日巴城館
▲木原方吉（佐賀縣水產技師）九日入京原金

近事片々

▲曾禰　副統監の統監陞任說亦持擧る伊公の態度鮮明ならざる爲に種々の風說湧起る
▲伊藤　老公豪い勢で官制大改革の爲に韓任するの說も之では矢張風說のみに止る乎
▲曾禰　子も近來大分韓國の事情に通じ來れる樣なれば一度統監として手腕を試るも可
▲恐ひ　切て曾禰子に一任したならば或は昔日の蠻勇を發揮し案外好果を奏せん乎
▲不得　要領の中に子の本領あり時に意外の英斷を爲す事あり此際此英斷こそ必要也
▲南北　沿岸を視察し來る曾禰子必ずや得る所ありしならむ[illegible]視察談こそ聞しけれ
▲元山　以北の開拓に就ては如何の考案ある乎恐らくは適切の考案は浮ばぬならん乎
▲觀光　團歸る果して如何なる洗禮を受け來りしか果して當局者の豫期に反せざるや
▲是に　就て萬朝に揭げられたる批者は朝鮮の探助でムるの文は仲々皮肉に出來居る
▲伊藤　統監の文明や軍艦やの講釋は聞き飽きたり此等は聞かざるも既に能く知ると
▲日本　軍事の發達は日清日露の兩戰爭によりて能く承知せりとは[illegible]皮肉の申分也
▲一行　中に斯る考を有せるものなしとは保し難し如何なる洗禮とは即此意味ぞかし
▲蒙古　のトルハタ王日本を去るに臨で忠言して曰く日本も蒙古に勢力を扶植せよと
▲蒙古　諸王を懷柔して文明の恩澤を知らしめよと然れども未だ韓國だに實蹟擧らず
▲露人　の經營着々步を進む此儘になし置ば近き將來に於て大勢一變せんと實に然り
▲韓國　さへ持て餘し居る体裁では卜王の忠告も何の甲斐なし大陸經營の前途は遼遠
▲對清　外交の振擧と共に北滿蒙古にも着眼せよ然らざれば悔ゆるの時或は來らん乎
▲英國　が對獨外交に刷新を加へると共に米國亦大に振はんとす獨逸も亦盛起せん乎
▲米國　は新に一流の外交家を駐獨公使たらしめんと對獨策は列國の最も注意する所
▲帝國　政府今後の對清策は如何、保護綱にすら頭を惱すを見ては對獨外交も氣遣はし
▲外國　士界の君武[illegible]學院の名物男若井卓藏君法學博士たらんと此男特に博士の價有
▲彼は　[illegible]口吉に雄なるのみならず頭腦[illegible]

●宮內部關係廳運動會

旣報の如く內部關係官廳聯合運動會は九日[illegible]れたるが先づ深田委員長の開會の挨拶あり十一時大韓醫院の醫術に關する假裝行列を行ふて食堂を開き暫時休憩の後再び內部土木局員の皇族臨場に擬したる假裝ありて頗る興を添へ又地方局に僧はしに係る假裝行列は大士を先頭に各自思ひ〳〵の假裝に意を凝らしたること之又多大の喝采を博し之れより綱引ありて全く豫定の競技を了へ斯くて食堂にて委員一同の慰勞宴あり萬歲を三唱して散會したるは午後四時なりき

●平壤勞働會の昨今　京城勞働會平壤支部及び平壤勞働會は旣報の如くその合併成立して平壤勞働會と改稱し會長を李元鎬副會長を[illegible]總務を金斗萬とし大に其の業務を[illegible]韓人に對し汎く人夫供給の需めに應ずる由

●釜山汽船と新汽船　釜山汽船株式會社は愈々業務を擴張して南韓沿岸の航海をなすべく從來の汽船宗信丸に加へて新たに汽船一隻を購求せん筈にて目下大阪の船主と交涉中なりと

●大邱戶口數の增加　大邱警察署の調査に依れば四月末現在の日本人戶數及び人口は戶數千百八十六戶人口四千四百四十八人乃ち前月に比し六百八十一人を增加せりと



●ぶらつ記（五）　ぼく

戀が浮き世か浮き世が戀か、戀を放れて人はない

薰香に誘じ行く人あり、丸に惠の字の紺法被、小さい包みを胸に斯う、輕く抱へて穿ッ掛け草履、紺の香失せぬ腹掛け股引、緊く閉ぢたる口許に、女にはしい愛嬌あり、踏み出す足の間をスッと、妖氣にでも魔にれたか如、悸然とした拳を固め、腰を下して手ごろの礫、暗を透して丁と抛つ、ヒラリと翻して理事廳の構の内でニャアと鳴く、猫なりけらし。

七の附きたる拳をハタ〳〵と法被の裾、高く笑つて行かんとしたるが、背後に佇む僕の顏を、チラリと見たが「唐突に何かと思つて吃驚しちやつた」言ひ譯けらしく呟いて小橋を渡つて左の巷路の暗に姿を投げ込みぬ。

右に折れる、本町一丁目裏通りにして下水を前に五軒茶屋、家毎に吊した大提灯、暗を照らして眞晝の樣な、軒下に網を張り店や、椋鳥かゝれと佇める、女の顏を氣の毒な、景氣に黠けた瓦斯ランプ、遠慮もせずに眞正面に照らす、惚れて居らねば慾目のない拙者が眼にはドウ贔負目に眺めても、三十錢でも厭でムる、とは云へ「面でお客を取るのでねエ」から此所許先づは安心安心。

五軒茶屋、其樓名に曰く、浪花亭、寶來亭、松本樓、君の江、梅の家、

其の君の江に女あり、かゝる土地には稀れに見る、美し、年は十九か廿歲までは老かす、思ひ切つたる庇髮、鼻より前に三四寸其前髮の間をサクリ、二つに割つた間へグイと、此の位ある毛筋立、斜に挿して朱羅宇の煙管、杖についたる其の手の指に、スルリと篏めた金指輪も、色が白いで一際目立つ、何にを思案の投げ首か、伸べた頸に襟足の、線りなしたが譯もなふ、何さはなしに愛らしい。

他の四軒の部に似ず、梅の家だけはチリカラカッポの大騷ぎ、見上げた二階の障子に映る、影ん法師の動靜に、樓内の容子は知るに足るなり。

れ膝元近くなる此所にして此の寒もり、太平町や長谷川町が彼樣あることは當然なるべし、然は云へ此れも一つの移民策、あまりに酷な干涉も此所許一寸考へものなら、只願くはモウ少し、人里離れた一廓へ運び込む丈けの要はあるべし。知つたか振りに何に此の小僧引つ込んでろとれ叱言のない内に前だつて先つ右の一條は謹んで之れを取消し申し、已來決して再び申上げ間敷候一札仍つて如件」

抱いた小供はモウ寢て了つた、自分も少々睡氣さしぬ、サラバ（七日夜の記）

●賊は山遊樓の帳場

▲本町贊化病院に忍入る

仁川署の三刑事が一昨日正午頃或る事件調査の爲め牛角洞通りを通行せし際年の頃三十許りの怪しの男徘徊し居たれば職掌柄呼び止め其の居所を訊ねたる所京城本町の贊化病院に小使を勤むる內田要二郞（二十）なるものなりと申立てたるが其の擧動の怪しきに尙所持品を取調へたる所古城と刻印せるメタル、金時計、指輪其の他數點を持ち居りて本日主人は下仁し私は後れて之れを持ち來たるなりと申立てたれど辻褄の合はぬ筋の多きより仁川署に引致し嚴重に取調べたる所遂に包み切れず自白に及びたるが右の男は京城新町遊廓山遊樓に帳場を勤め居たる男にて去る六日の夜勝手知たる贊化病院に忍び入り金時計外三百九十餘圓を窃取し直に仁川に來りて賣飛ばしたる上滿州に高飛せんとしたるを刑事に看破せられて取押ねられたるものなり尙右の男は前科三犯の曲者にして目下嚴重に取調中なりと

●仁川祭典は本日

▲一昨夜の御輿洗式模樣

仁川の神輿渡御式例祭は愈々本日を以て行はる右に付き一昨夜は御輿洗式行はれたるが先づ午後七時ご云ふに世話係其他の有志供に立ちて神輿は日本公園便殿を發し宮町通りを本町に出で十八銀行側より海岸に降り稅關埋立地に於て八時半嚴なる御輿洗式を行ひ一時間程休憩便殿に歸着せるは同十一時頃なりき斯して御輿洗式濟みたる後の仁川は頓に景氣付き昨夜は各戶軒燈を吊し出屋臺二三は市內を曳き廻されて非常に賑ひたりと云ふ

●猪喰た酬ひ　龍山鐵道管理局工務課測量工夫田熊仙吉（四十三）と云へるは去る八日午後五時頃本町一町目裏某料理店にて鱈腹つた揭句酩酊のカルボ屋に至り金羅丹（十九）と云ふカルボを揚けて怪しき夢を結び歸途に就きたる際不圖所持せる時計の紛失したる事に氣付き南部署へ搜査方願出でたるも今に所在不明なりとは猪喰た酬いか

●酌婦の客引　長谷川町二丁目飲食店井上伊代松（四十）及び同町同業山崎權次郞（三十）の兩名は一昨日自宅前道路に酌婦を出して頻りに通行客に遊興を勸誘し居たるを巡査に認められ兩人共一昨日南部署に於て科料金一圓九十錢に處せらる

●狂女の家出　本町六丁目靑物商池田光藏妻はつ（二三）は去る八日突然發狂したるを以て家人は注意中なりしに翌午前零時三十分頃家出して行衞不明となりたりと

●仁川の天然痘　仁川敷島郞內敷島支店の娼妓巴事福井ともゑ（十九）と云ふは一昨日天然痘に罹り避病院に收容せらる又宮町四丁目萩野善六も同病に罹り避病院に收容せらる

●無屆居留五件　熊本縣飽託郡小塚村當時本町七丁目六十三番戶大工國元辰次郞（三〇）は一月七日より△佐賀縣杵島郡福地村當時若草町一丁目百十八番戶酒商溝上與太郞は一月より△下關市入江町目下新町三十七番地中野タツ（三六）は七月より△熊本縣球磨郡多良木町當時本町七丁目百一番戶藤原磯太郞（三七）は三月廿五日より△長野縣東彼杵郡折尾瀨村三百八十四番戶當時本町七丁目七十二番戶雜貨商豊村定勝（十九）は三月廿七日より何れも目下の肩書地に居留しながら屆出を怠りし爲め科料金二圓宛に處せらる

●熱三魔詩（下）　魚遊痴史

▲其三「紫奇婆魔」

莫迦を盡して遊んで居ぬ　日進月歩の現今の世に
昇天る朝日の勢力ひ次第　解けて流れの雪の肌膚
一山外て落籍がオチャン　恬なりや旹郞は只の客
我まゝ放埒亭主を臀下に　敷島出身の女郞あがり
金は無なる情婦に振られ　吾妻戀しや故鄕の天空
はまる深川どろみづ稼業　浮む瀨の無い身の墮落
玉代が高砂浦からそつと　尻に帆かけて逃げ支度

●太平町の運動會　同町にては町內の親和を圖るため一昨九日午前十一時より南門城壁內最高地に於て大運動會を開催せり集會者約二百餘名其他日韓參觀者又は頗る多く數十の紅裙は赤前掛にて杯盤を斡旋し餘興として各種の競技運動あり近來稀なる盛會なりしと

●一昨日の歌留多會　京城霞會の催しにかゝる歌留多會は一昨日京城座に於て開催したるが來會者五十余名にして頗る盛會なりしと尙は當日の優勝者は左の如し

一等松岡（通管）二等元山（霞會）三等熊野（南大門）四等三宅（仁川白雨會）五等梅宮（隼會）六等高松（南大門）七等岡宮（惠愛看護）八等八木（霞會）九等平田（南大門）十等溝路（通管）

●行旅病者へ寄附　旭町一丁目金田某は一昨日行旅病者收容所を參觀して金二圓を寄附せりと奇特と云ふべし

●淸月樓の新妓　新町遊廓淸月樓へ昨日現はれたる新妓は神奈川縣足柄郡小田原町松浦はる（十九）と云へる劣孃

●警戒　十日午前十時仁川觀測所發同三十分京城測候所着警報左の如し

一警戒　風强かるべし
一低氣壓　黃海道北部にありて七百五十五耗を示し其中心は東に進まむ
一區域　韓國中部及南部

●拙者は朝鮮の椋助でムる　京城日報の日本觀光團に付き萬朝は左の如き記事を揭げて居た

拙者は朝鮮の椋助で御坐るが此度觀光團と申す者に加はり遙々と貴國へ罷出でた一人で御坐る△國許出立の際は人選なか〳〵嚴重で拙者なども大枚百兩の金を出す位なら何も觀光團などゝ講中を作らずとも獨りでゆる〳〵見物するが勝手だと申した處、貴樣は排日派だらうと怒鳴り付けられ是非に及ばず加入に及んだ△夫れかと思ふと親日派の中堅と我も人も許して居る一進會の連中は何とあつても許されず、同會の機關新聞の社員は絕對に拒絕せられたなど腑に落ちぬ事がある△尤も此度の事は李完用が頑固黨を日本に送り統監殿の御機嫌を伺ふ爲めの企てだとも聞及んだがイヤがる拙者などを無理に勸めた處を見ると成程と思はれる節がある△夫は扨置き門司上陸後廣島京坂は兎に角兼々聞及びたる東京では緩つくりと見物の出來る事と樂しんだ甲斐もなく文明開化の恐しさ何百里の夜汽車でヘトヘトに疲れ切つたる矢先き、新橋に着くや否や直ぐに大倉氏に招かれて雜多の骨董品を見せられたのも隨分難有迷惑で御坐つたが親子丼に牛肉の汁でオッ拂はれたのは流石に日淸戰役の當時砂入の米を兵士に喰せた御手際の程痛く感じ入つた▲其後も每朝早くから起され諸所の見物はよいが說明は先きの四五人に分るばかりで何が何やらサッパリ合點が行かず、其中前へ〳〵と推されるので只だもうキロ〳〵と老眼の氣を揉むばかり、二日目から足が腫れ上がりて步行も叶はず、責めて一日養生が致したいと申出れば、文明的の團隊的行動とやらではソンナ我儘は相成らぬと叱られる、丸で豚や犬のた扱かひで御座る△殊に統監閣下の御演說度々承つて御座るが御演說の度每に此の文明、此の軍備を見てはドウダ〳〵と馱目を押さるゝ樣な氣が致して正直な話變な心地が致して御坐る日本の軍備のエライ事は兩度の戰爭で夙に存じて居るから今更コンナ事を繰返さるゝ統監閣下の御心中はトント合點が參り兼ねた△最後に李完用黨の二三人がとう〳〵尻尾を出して統監閣下に感謝狀を捧呈しようと發議したので扨ては〳〵と笑つた事で御坐る△皇太子殿下に拜謁致した時には拙老などは無論感泣致した一人で御座るが感泣にも感泣の次第が御坐る、拙老は御馳走になつたからとて感泣は仕らぬ

●余が觀る天理教　右都合に依り揭載を中止す



捏造中傷無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲時候は好し在住熊本縣人靑年親睦會開催しては如何御贊成の諸彥はなきや（在京城拔天生）▲自今入札を小便すること落札の尻割及馬鹿らしき事とケチな事を岡本若しくは岡文を符號す、右規約す（御目玉頂戴會幹事）▲何んの事か分らぬ（係）▲武田式經濟焚附火玉の好評を聞いたから本日の日曜に各商店を聞き合せても見當らない何れに賣りて居りますか（火玉買度生）▲貴社の

韓語獨習暗誦數次之を韓人に試むに少しも通ぜず通せざるも道理なり由來外國語の發音を假字に表すことの困難なることは余も亦之を知る余の如き韓人敎師に就て習得するものは其誤りなることを直に知るを以て些の害なきも何も知らぬ多忙の人か少閑を偸て參考となさんとする人には罪ですよ少し韓語の出來る人に擔任させなければ初學を誤るの責を免れざるべし試に左に誤謬の點を指摘す（イヨッソイ）は（イヨッサイ）（オイウオル）は（ナイウオル）（スウムサフンナールン）は（スムー、サーフンナルン）（ムスンナーリヨ）は（ムスンナーリーヨ）（オルヨイリヨ）は（ウオリヨウイーリーヨ）（オヌールンメッチルリヨ）は（オーヌールンメッチーリーヨー）（クルプイヌンチアーレンナーリヨ）は（クルプヒーヌン、チアーレンナーリーヨー）、（アフレンサーリーヨー）の誤（朝鮮語大博士）▲注意致させます謹んで厚意を謝す（係）▲太平町の通りの魚屋に「生魚大安賣」とある只「生魚大安賣販賣」と改むべきだ（エラガリ男）▲長谷川町の秋田商會の出張所の看板の假の一字が振つて居るイヤに負け吝んだもんだ（夏子）▲此の頃はチナ裏店へ行つて見ても日本人の家には杜若か鉢植になつて二つや三つはあるツコマーしてる樣で閑日月がある國家の爲に喜ばしい（玉野）▲京城だつて糞臭いからばかりではない洗劍亭邊へでも出掛けて見るとハナカ〳〵好風景の所があるよ（星の子）▲龍山にも猫島が出來るとか云ふが京城の寵もドウカ一定の場所に收容したいものだ敢て當局者の一考を煩はす（太平洞）

●天氣豫報　自十日午後六時至十一日午後六時

北東風曇少雨

九日　最高溫度　七八、一　最低溫度　四八、九　（華氏）

眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る